

## 菜生海岸災害調査検討委員会について

### 1. 菜生海岸災害調査検討委員会の目的

平成 16年 10月 20日、台風 23号の激しい高波により、高知県室戸市の<sup>なばえ</sup>菜生海岸において海岸堤防が約 30mにわたって倒壊し、流入した海水等により背後の家屋 13戸が被災し、3名の方が亡くなった。

今回の人的被害、家屋被災の直接の原因は、堤防の倒壊により、高波が直接背後に流入したものであるが、この堤防の被災形態は、これまでの海岸災害ではほとんど見られないものであった。

このため、堤防倒壊のメカニズムを明らかにし、復旧対策を検討すると共に、別途行なう全国の海岸の総点検結果を踏まえ、ハードとソフト両面での減災対策を目的とし、国土交通省と高知県が標記委員会を発足させた。

### 2. 第3回 検討内容(予定)

堤防倒壊のメカニズムと復旧対策について最終報告(案)

全国の海岸の必要な箇所についての総点検結果を踏まえた、今後のハード及びソフト両面での減災対策の検討

### 3. 委員会の構成

委員長 佐藤慎司(東京大学教授:海岸工学)

委員 宮田速雄(高知新聞編集局次長、兼報道センター長)

大年邦雄(高知大学教授:防災工学)

中野 晋(徳島大学助教授:沿岸域工学)

中田慎介(高知工科大学教授:建築耐震工学、地震防災工学)

福濱方哉(国土交通省 国土技術政策総合研究所 海岸研究室長)

平石哲也(独立行政法人 港湾空港技術研究所 波浪研究室長)

杉本悟史(気象庁気候・海洋気象部海洋気象課海洋気象情報室調査官)

事務局 高知県、国土交通省

(敬称略、順不同)

第1、2回委員会の資料及び議事要旨については河川局HPに掲載してあります。

<http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai/kondankai/nabae/index.html>